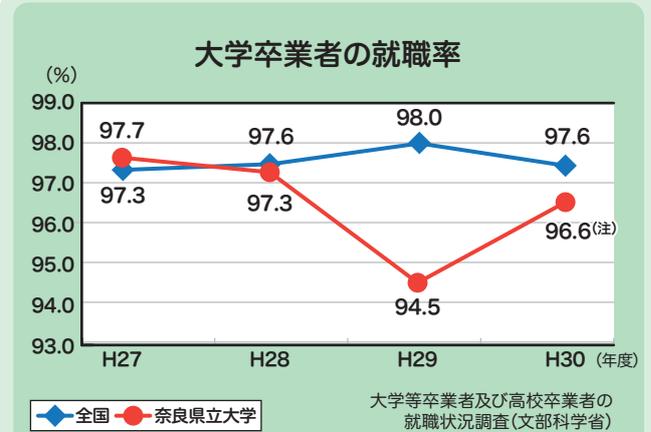
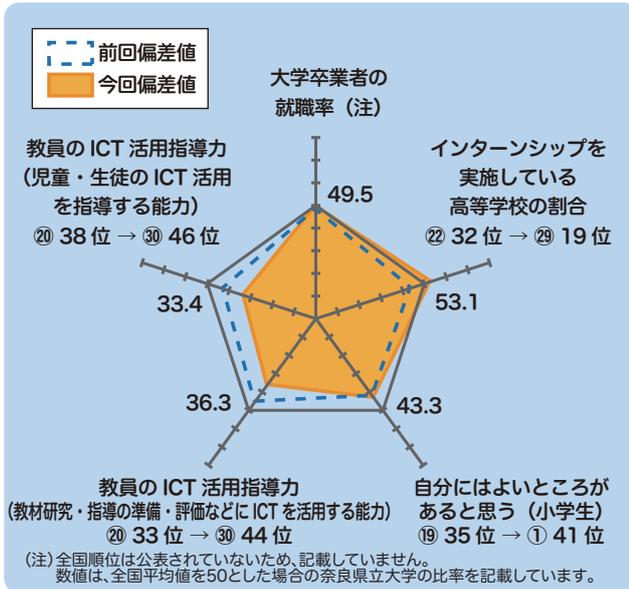


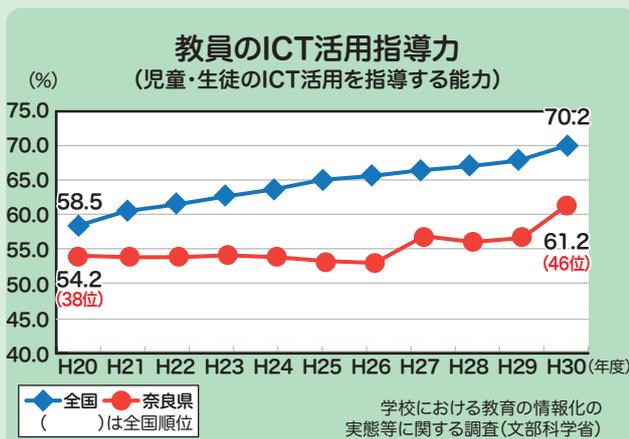


19. 教育の振興

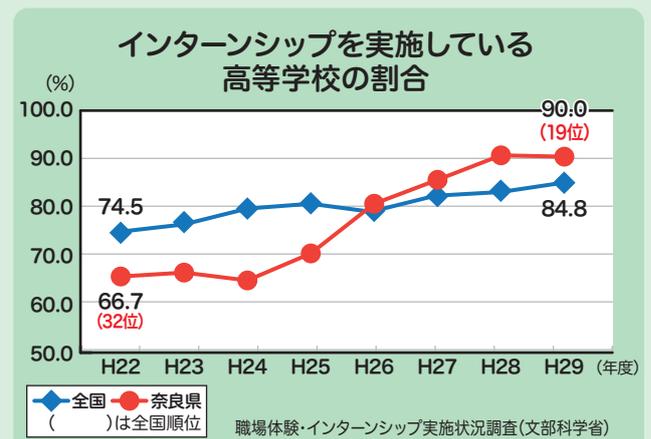


(注) 全国順位は公表されていないため、記載していません。

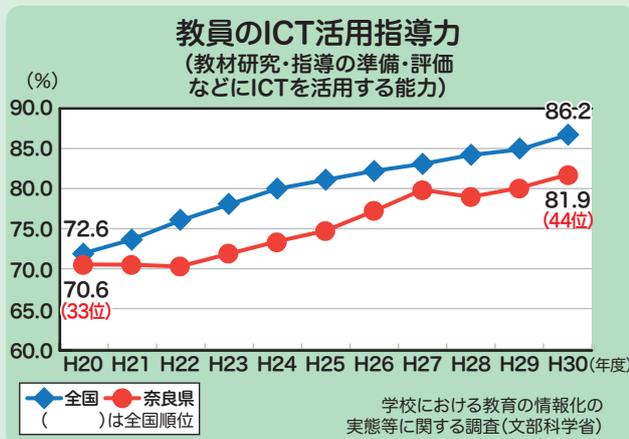
平成30年度の大学卒業者の就職率は96.6%と前年度より2.1%増加したものの、全国平均を下回っています。



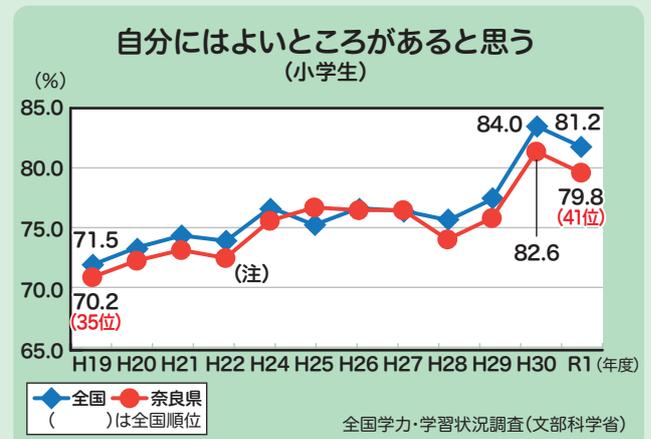
平成20年度から着実に向上しているものの、全国と比較すると依然として低位の状態が続いています。



インターンシップを実施している高等学校の割合は改善し、平成26年度以降全国平均を上回っています。



平成20年度から着実に向上しているものの、全国と比較すると依然として低位の状態が続いています。



(注) 平成23年度は調査未実施のため、記載していません。

「自分にはよいところがあると思う」と回答する小学生の割合は79.8%と前年度より2.8%低下し、全国平均を僅かに下回っています。



(103) 県立大学の教育の充実 (104) 県立大学附属高校の設立

これまでは

- ・ 県立大学の教育環境充実を図ってきました。
- ・ 「少人数対話型教育(コモンズ制)」を導入し、地域に貢献できるすぐれた人材を育成
- ・ 国内外における「フィールドワーク」先を充実させ、地域課題に主体的に取り組む人材を育成。
- ・ 海外大学との交流を進め(協定締結 平成27年度: 9校→平成30年度: 17校)、学生の留学経験者の増加を図り、教育及び学術研究交流の一層の推進を加速。
- ・ 「施設整備基本計画」に基づき「コモンズ棟」等を整備。
- ・ 「奈良県立大学シニアカレッジ」を実施し、県民へ学び直しの機会を提供。
- ・ 県立大学附属高校の設立のための議論を重ねてきました。



施設整備基本計画に基づく整備イメージ
(平成29年3月時点)

もっと良くするために

- ・ 大学改革を加速します。
- ・ これまでの地域経済、観光等の教育の充実を図るとともに、新たな分野の教育にも取り組み、地域や国際社会で活躍する人材の育成に力を入れます。
- ・ 地域創造研究センターを新たに設置し、奈良県の地域のシンクタンク機能を果たしていきます。
- ・ 引き続きクラブハウスや図書館等のキャンパス整備を進めます。
- ・ 令和3年4月に県立大学附属高校を開校します。大学受験を意識しない7年間(高校3年間+大学4年間)を見通した教育を念頭に、現・奈良県立西の京高等学校の校地に開校し、1学年5クラス(200名)を予定しています。

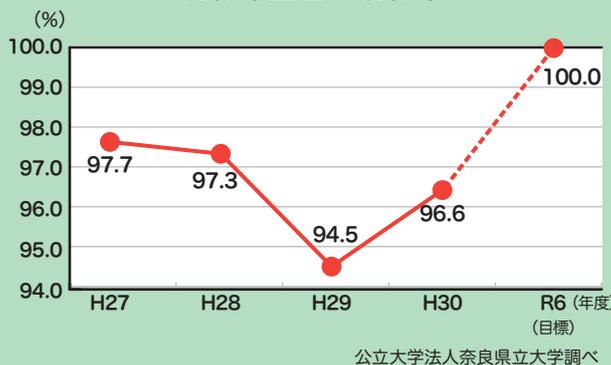
目指す姿

令和6年度までに奈良県立大学における就職希望者の就職率を100%にします。

県立大学はフィールドワークの充実や、少人数対話型教育(コモンズ制)の導入と、そのための施設整備を進めて充実した教育を目指してきたんだね。



就職希望者の就職率



そうです。これからも研究や地域との連携の充実や、附属高校の開校なども進めて、学生が希望する進路を実現できる大学を目指します。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
教育内容の充実	アクティブ・ラーニングやPBL(課題解決型学習)等の手法を用いた「少人数対話型教育」の推進		
キャンパス整備の推進	コモンズ棟等施設整備の実施		
学び直しの機会の提供	奈良県立大学シニアカレッジの実施		
県立大学附属高校の開校	開校準備	●開校	課題探究型教育・ICT活用教育等の推進



(105) 県立医大教育の充実、県立医大教育将来像の深化

これまででは

- ・第2期中期計画のもと、医大改革を進めてきました。
- ・令和元年度から6年間の第3期中期目標・中期計画を進め、医大の改革をさらに進めています。

もっと良くするために



奈良県立医科大学の将来像(教育分野の理念)

豊かな人間性に基づいた高い倫理観と旺盛な科学的探究心を備え、患者・医療関係者、地域や海外の人々と温かい心で積極的に交流し、生涯にわたり最善の医療提供を実践し続けようとする強い意志を持った医療人の育成を目指します

医大への期待

高度医療、急性期医療、慢性疾患に対応する

- ・最高の医学と最良の医療を行う「良き医療人」を育成(「心・知・技」を併せ持つ人材を育成)
- ・県内基幹病院として、地域医療の充実へ貢献

医療の特性に応じた目標

高度医療

- ・高度医療における患者の理解と、自己選択を促すコミュニケーションを習得する学習
- ・臨床研究中核病院の認定取得
- ・質の高いがん治療実施比率の向上

急性期医療

- ・急性期医療における患者の理解と受容を促すコミュニケーションを習得する学習
- ・特定行為研修を修了した看護師数の増加
- ・ER型救急医療体制の確立
- ・災害医療チームの育成

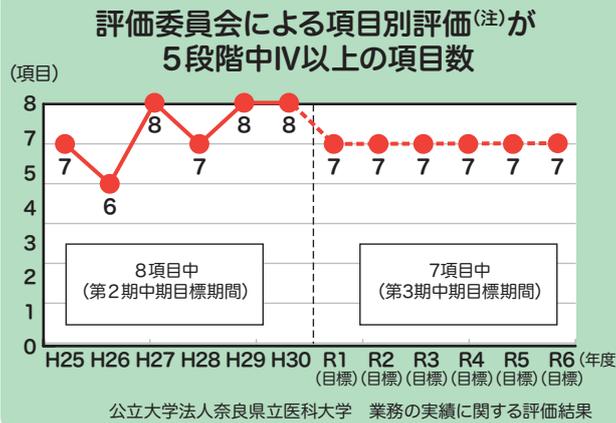
慢性疾患

- ・患者に寄り添うコミュニケーション学習
- ・特定行為研修を修了した看護師数の増加
- ・総合診療科に在宅医療部門設立

目指す姿

令和6年度まで各年度の評価委員会による項目別評価について、全項目5段階中IV以上を維持します。

第2期(H25~H30)中期目標期間には、県内での医師の適正配置に向けた体制として県立医大医師派遣センターを設置するなど多くの成果があったんだよ!



第2期の成果や課題を踏まえて県が策定した第3期中期目標の達成に向けて、県立医大は、高度医療、急性期医療、慢性疾患という特性に対応できる「患者を理解する心」、「知識」、「技術」を持った人材の育成に取り組んでいきます!



主な取組

取組

第3期中期目標達成に向けた取組・運営に対する支援

心の教育を実現するための講座の運営等に対する補助

県による中期目標、中期計画の進捗管理

医大の将来像実現推進会議の開催

評価委員会による業務の実績評価

評価委員会の開催



(106) 県と大学との連携、 県立大学・県立医大と他大学との連携強化

これまでは

大学との連携を進めてきました。

大学の高度な知的資源を活用し、県政の様々な課題への対応策を検討・実施するため、

- ① 早稲田大学(H20包括連携協定締結)及び近畿大学(H28包括連携協定締結)と連携事業を展開しています。
- ② 近畿大学農学部と奈良県幼児向け運動・スポーツプログラムに基づきモデル事業を実施しました。
- ③ 「県内大学生が創る奈良の未来事業」において奈良女子大学や県内大学等からの提案を事業化し、県政課題の解決を進めています。
- ④ スイス・ベルン州との友好提携に基づく大学等との連携を進めました。

もっと良くするために

- ・ 中国清華大学と文化・産業等の交流を進めます。
- ・ 早稲田大学、近畿大学との連携を進めます。
- ・ NAFICとBCC(バスクカリナリーセンター)との連携を進めます。
- ・ 県立大学では他大学との連携・研究を進めます。
- ・ 県立医大では奈良先端科学技術大学院大学と連携し、医学と工学の共同研究による産学振興を進めます。

目指す姿

令和6年度までに大学との連携事業数(県全体)を100件にします

大学の知見を活用した連携事業を県全体で進めて、近年は80件ほどの件数を維持しているんだね。



大学との連携事業数(県全体)



そうです!今後も専門的な知識が必要な県政の様々な課題へ対応するため、積極的に大学との連携を進めていきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
大学との連携推進	県政課題に応じた連携の実施・展開		



(107) 県立高校教育の充実

これまでは

県立高校の設備・施設の改善を進めるとともに、県立高校教育の適正化を推進してきました。

- ・ 全ての県立高校の普通教室で空調設備の設置を実現
- ・ 県立高校の耐震化を速やかに実施
- ・ 平成30年度に適正化実施計画を策定



耐震化の完了した校舎



空調設備設置教室での授業の様子

もっと良くするために

「魅力と活力あるこれからの学校づくり」のため、「県立高等学校適正化実施計画」に沿って、県立高等学校教育の質向上に取り組みます。

学校再編…………… 県立国際高等学校、奈良県立大学附属高等学校の開校
県立奈良南高等学校、県立宇陀高等学校の設置

教育内容の再編成…………… 県立奈良商工高等学校、県立高円芸術高等学校、県立商業高等学校、
県立奈良北高等学校等で特色ある教育を推進

教育環境の整備…………… 学校施設設備の整備・充実、耐震化を令和4年度までに完了、ICT環境の充実

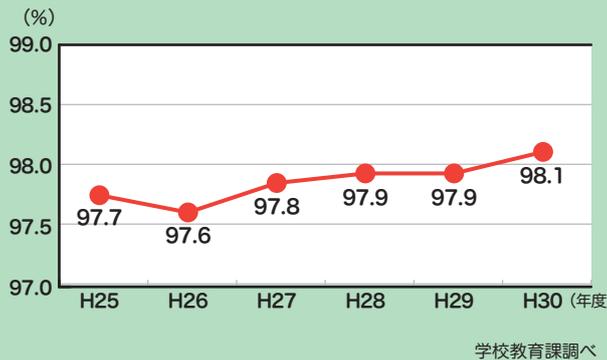
目指す姿

令和5年度までに高等学校再編を完了し、魅力と活力ある学校づくりを推進します。

県内中学校の高等学校進学率は約98%にもなるんだね。今や高等学校は中学校卒業後のほぼ全ての者が学ぶ機関となっているんだね。



県内中学校卒業生の高等学校進学率



そうです。だからこそ、多様な生徒のニーズに応えるために、県立高等学校適正化実施計画の着実な実施をとおして、高等学校教育の質の向上を図る必要があります。引き続き、魅力と活力ある学校づくりを進めていきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
統合・新設校の開校・設置準備、教育内容の充実	● 県立国際高校開校、 県立奈良北高校数理情報科設置	● 県立奈良南、県立奈良商工、 県立高円芸術、県立商業高校開校	● 県立宇陀高校開校
ICT環境の充実	県域統合型校務支援システムの活用による校務の標準化、共通化(令和6年度)		
県立高校の耐震化	県立高校の耐震化(令和4年度完了予定)		
県立学校施設の長寿命化の推進	長寿命化整備計画策定	整備計画に基づく長寿命化改修等の推進	



(108) 実学教育の充実、インターンシップの推進

これまでは

○ 質の高い職業人の育成

- ・ DMG森精機(株)製最新鋭工作機器の県立工業系高等学校3校への導入
- ・ 企業と連携した人材育成カリキュラムの検討
- ・ 高等学校で企業技術者による授業を開始



奈良県とDMG森精機との包括連携協定に基づく加工機導入セレモニー(奈良市)



最新鋭の工作機械を使用したDMG森精機技術者による授業(御所市)

○ 有給インターンシップの検討

- ・ 県立教育研究所キャリアサポートセンターに無料職業紹介事業所を開設

もっと良くするために

- ・ 地域の産官学連携の強化充実を図ります。
- ・ 有給インターンシップを推進します。

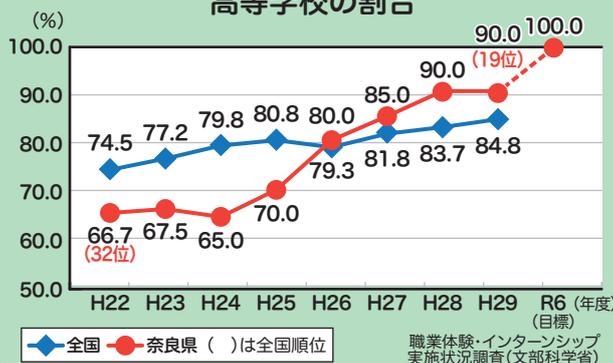
目指す姿

令和6年度までにインターンシップを実施している高等学校の割合を100%にします。

県内の県立高校で進められている実学教育ってどんな教育なの？



インターンシップを実施している高等学校の割合



実学教育とは、より実社会で活用できる知識・技能が身に付く新しい教育のスタイルです。学校で学んだことを企業で試せる、奈良県版デュアルシステムやインターンシップに取り組んでいきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
連携協定企業等と協働した人材育成	企業と協働したカリキュラムの編成・実施		
望ましい勤労観、職業観の育成	インターンシップ及び奈良県版デュアルシステムの促進		
キャリアサポートセンターによる就業支援	インターンシップコーディネーター・キャリアプランナーによる就職ガイダンス及びセミナーの実施		
県内企業との接点強化	高校生就職支援会議及び県内企業見学の実施		



(109) 就学前教育の充実

これまでは

- ・「奈良県版就学前教育プログラム」により、理論・体系の明確化と実践・展開
- ・海外の事例等に基づくエビデンスの収集、調査分析
- ・県内私立幼稚園等における教育プログラムの実例を収集、効果検証

もっと良くするために

奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の実践を推進し、プログラムの普及・啓発や、音楽をすることによる知能、神経の発達を実践します。

目指す姿

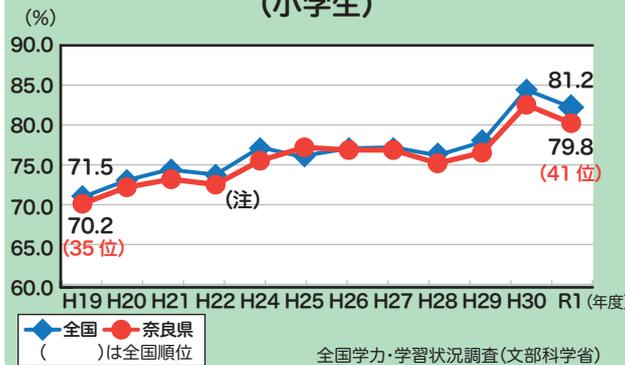
令和6年度までに、奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」活用率を80%にすることで、自尊心の向上を図ります。

就学前教育が充実するためには、施設類型(公立幼稚園、認定こども園、保育所)を超えて活用できる教育プログラムが必要だね。



就学前教育が充実すれば、幼小接続の推進や、奈良県の課題である小学生の自尊心の向上にもつながるね。

自分にはよいところがあると思う(小学生)



(注)平成23年度は調査未実施のため、記載していません。

奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」を普及・啓発すれば、就学前教育の充実を図ることができますよ。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
公立幼稚園、認定こども園、保育所における奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」の活用	施設類型を超えた一体的な研修において「はばたくなら」を活用		
奈良県版就学前教育プログラム「はばたくなら」実践事例の作成	研修等で「はばたくなら」を活用した園・所からの実践事例の募集		
「豊かな感性と表現」の育成	音感受への意識を育む講演や、楽器体験等の実施		



(110) 私学の振興

これまで

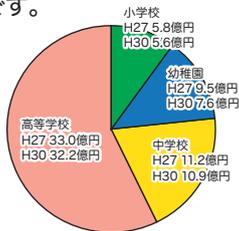
本県で私学は大きな役割を果たしていますので、私立学校の運営費に対して補助を行ってきました。

(運営費)は、各学校の「生徒割」、「教職員割」、「学校割」などの基礎的な数値に基づく配分です。

合計

H27 59.4億円

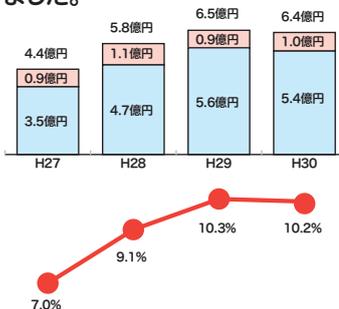
H30 56.3億円



私学教育の質の向上のための「政策推進助成制度」を導入し、その拡充を図ってきました。

政策推進加算

学校提案型加算



もっと良くするために

- 私学には、運営費補助の他、様々な補助制度(施設の耐震化、カウンセラーの配置、授業料等の軽減)の活用により、教育の質の向上を図っていただきます。
- 学費負担者への授業料等補助は、令和2年度から授業料に加え、施設整備費等も対象とし、補助額を拡大します。(非課税世帯の場合: 42万円 → 57万円)
- 政策加算率は10%程度を維持し、取組件数の増加、取組内容の充実を図ります。

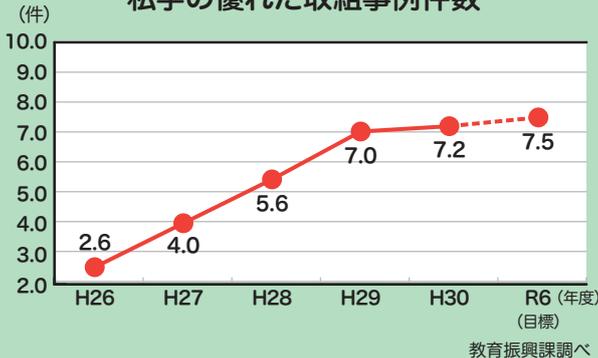
目指す姿

令和6年度までに補助を活用した私学の優れた取組事例の件数を1校当たり7.5件にします。

奈良県の私立学校では補助の活用もしながら、様々な取組を行っているんだね。



1校当たり補助を活用した私学の優れた取組事例件数



そうです。奈良県では、これからも私立学校の特色ある取組を補助して、私立学校の振興を支援していきます。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
私立学校の優れた取組への支援	私立学校への優れた取組事例周知、積極的な取組への支援		
私立学校の授業料等の負担の軽減	学費負担者への授業料支援		



(111) 教育ICTの推進

これまでは

教員のICT活用指導力は全国44位、教員の校務用コンピュータ整備率が全国47位となっています。

もっと良くするために

プログラミング教育に関する充実した研修の実施。また、県内において統合型校務支援システム導入を推進するとともに、STEAM教育エバンジェリストのさらなる育成。

- ・プログラミング教育必修化に向けて、学校のニーズに応じた実践的な研修の充実に努める。
- ・市町村教育委員会と連携しながら、県全域での統合型校務支援システムの導入を促進し、教員の働き方改革を押し進める。
- ・研修リーダーとしてのSTEAM教育エバンジェリストの育成を拡大し、各学校でのICT活用が活性化するよう努める。

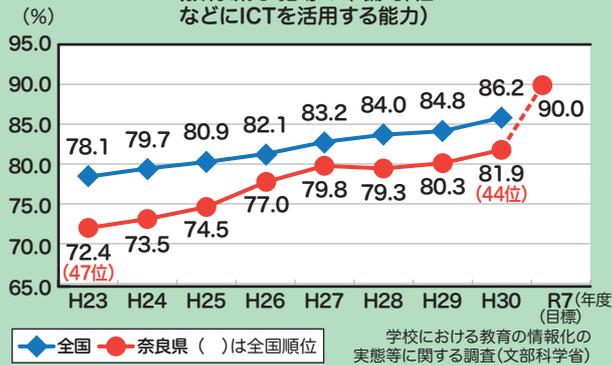
目指す姿

令和7年度までに教員のICT活用指導力(教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力)を90.0%にします。

教員のICT活用指導力を向上させるにはICT機器の整備と、研修の充実が必要だね。



教員のICT活用指導力 (教材研究・指導の準備・評価 などにICTを活用する能力)



これからの社会を創ってゆく子どもたちのためには、教育の中でもICTを有効活用していくべきですね。



主な取組

取組	令和2年度	令和3年度	令和4年度
統合型校務支援システムの導入	全公立学校に統合型校務支援システムの導入促進		
学習カルテの開発	中高連携開発(高校入試)	就学前・小学校連携開発	実運用開始
遠隔教育の実施及びクラウド化の推進	1地域実証研究	3地域実証研究	SINET(学術情報ネットワーク)接続検討
教育情報化を推進するリーダーの育成	1校1名のリーダー研修	エバンジェリスト(注)認定	研究大会の開催

(注) 現在の教育課題について広く考え、授業や校務でICTを活用した教育を推進するためのリーダー



DMG森精機から貸し出された最新鋭の工作機械を使用した実習教育・森精機技術者による出張授業(御所実業高等学校)



タブレット端末にて動的幾何ソフトを用いた高等学校数学の授業(香芝高等学校)



幼小接続の取組における幼稚園と小学校の交流活動(生駒市立壺分幼稚園・壺分小学校)